

-札幌市内初、家づくりを学べるセキスイハイムの体感型ショールーム-

「ハイムギャラリーパーク札幌」オープン

- 家づくりを学べる「スタディギャラリー」と実空間展示の「モデルルーム」からなる複合型施設
- 多彩な体感型コンテンツで“学びやすさ”と“楽しさ”を追求

2024年6月6日
北海道セキスイハイム株式会社

北海道セキスイハイム株式会社（本社：札幌市 代表取締役社長：高井 猛）は、2024年6月8日（土）に、体感型ショールーム『ハイムギャラリーパーク札幌』をSTVハウジングプラザ宮の沢（札幌市手稲区西宮の沢4条1丁目1-80）内にオープンします。

セキスイハイムグループでは、家づくりを「楽しく、わかりやすく」ご理解いただくための体感型ショールームを各地で展開しており、今回、札幌市内では初めての開設となります。

当施設では、北海道での家づくりに関する一般的な知識やこれからの住宅に求められるレジリエンス機能、長く快適に住み続けるために必要な住性能などについて、先進の映像技術や実物模型で体感しながら楽しく学べます。そのなかでセキスイハイムの位置づけや特長もご説明します。

札幌の中心部からアクセスしやすい立地で、これから住宅建築を検討される多くのお客様にご来場いただき、検討初期段階で必要な知識を学んでいただくことで、満足度の高い住まい実現のサポートを目指します。

『ハイムギャラリーパーク札幌』の概要

■家づくりを学べる「スタディギャラリー」と実空間展示の「モデルルーム」からなる複合型施設

住宅展示場タイプの複合型施設として、スタディギャラリーとモデルルームを併設。スタディギャラリーは、家づくりの基本を学ぶ「家づくりスタディ」、当社の家づくりを学ぶ「ハイムスタディ」、これからの家づくりを学ぶ「未来の家スタディ」の3つのギャラリーで構成します。

■多彩な体感型コンテンツで“学びやすさ”と“楽しさ”を追求

①体感シアターで、自然災害の脅威と減災住宅の重要性を学ぶ

過去に発生した自然災害を臨場感あふれる4Dシアターで体感し、災害に備えた家づくりの必要性を実感することができます。

②VRや実物模型で、高性能・高品質な家づくりを目指すセキスイハイムの特長を学ぶ

現場建築と工場生産の違いや構造部材の比較などを、VRや実物模型、映像と連動した可動型ジオラマで体感でき、セキスイハイムの特長がご理解いただけます。

③対話型映像で、未来の暮らしを見据えたスマートハウスを学ぶ

タッチセンサーを用いた対話型コンテンツにより、スマートハウスの利便性や将来の発展性、暮らしとエネルギーのあるべき姿を学べます。

■施設概要

- ◎名称：ハイムギャラリーパーク札幌
- ◎オープン日：2024年6月8日（土）
- ◎所在地：札幌市手稲区西宮の沢4条1丁目1-80 STVハウジングプラザ宮の沢会場内
- ◎開館時間：10:00～18:00
- ◎定休日：毎週火曜日・水曜日（他、STVハウジングプラザの定休日に準じます。）

『ハイムギャラリーパーク札幌』の狙い

失敗しない家づくりのためには、適切な情報収集と理解が必要となります。とりわけ情報過多の現代においては膨大な資料やデータの中からお客様だけで正しい情報を選ぶことは困難です。そのため、セキスイハイムグループでは、家づくりを「楽しく、わかりやすく」ご理解いただくための体感型ショールームを展開しています。

今回、札幌市内で初めて開設するセキスイハイムの体感型ショールーム『ハイムギャラリーパーク札幌』では、北海道での家づくりに必要な一般情報を客観的な視点から整理しわかりやすい形で伝え、お客様の家づくりにおける判断基準の形成をサポートします。モデルルームを併設することで、理想の住空間のイメージ形成にもお役に立ていただけます。

『ハイムギャラリーパーク札幌』の構成

家づくりの体感型学習の場となる3つの「スタディギャラリー」と、理想の住空間を提案する「モデルルーム」から構成します。

1. スタディギャラリー

①家づくりスタディギャラリー(1階)

住まいの工法模型や実際の部材など直感的に理解しやすい展示物で、一般的な日本の住宅建築の構造・工法を紹介。長く安心して住み続けられる住宅選定のポイントとして、強い構造の見極め方・基礎の選び方・住宅の作り方について解説します。



▲家づくりスタディギャラリー(1階)

②ハイムスタディギャラリー(2階)

セキスイハイムの特長である工場生産やボックスラーメン構造について紹介し、それらの工法や構造を採用した理由を説明します。また、寒冷地に合わせた断熱・気密性能や雪に強い屋根材、凍害に強い外壁など、北海道で安心して暮らせる住まいについて紹介します。さらに、トラブル相談の多い住まいの保証制度についても、一般例を交えながら失敗しないための選び方をわかりやすく解説します。



▲ハイムスタディギャラリー(2階)

③未来の家スタディギャラリー(2階)

当社が提案するスマートハウスについて、聞いただけではわかりにくいエネルギーコントロールやIoT技術を体感しながら、その利便性や経済メリット、環境効果についてお伝えします。また、太陽光発電システム・蓄電池をはじめとした設備によって、被災時でも在宅で普段に近い暮らしができる「減災への有効性」についても解説します。

2. モデルルーム

「自分の時間と家族の時間を持てる空間で暮らしを楽しむ」をコンセプトにしたモデルルームです。在宅時間が増えた昨今、家族と一緒に居ながらも個人がリラックスできる空間を作ることの重要度が高まっています。

インテリアコーディネーターは、セキスイハイムグループのインテリア・エクステリア専門会社「セキスイデザインワークス株式会社(本社:東京都新宿区、代表取締役社長:坂本勝)」との協業により、ミラノサローネのトレンドを取り入れ洗練されたリラックスできる空間としています。



▲モデルルーム

『ハイムギャラリーパーク札幌』の特長－多彩な体感型コンテンツ

1. 体感シアターで、自然災害の脅威と減災住宅の重要性を学ぶ

今年に入り各地で大きな揺れを伴う地震が多発しており、家族の生命を守る住まいの重要性が再認識されています。「家づくりスタディギャラリー」では、2016年の熊本地震や2018年の北海道胆振東部地震などを例に、臨場感あふれる4Dシアターで自然災害の脅威を体感いただくとともに、災害に備えた家づくりの必要性を解説します。

【巨大地震体感4Dシアター】

大型映像と大音響に加え、4D技術※（「振動」「フラッシュ演出」「風の体感」）を用いた臨場感のある映像コンテンツで、記憶に残りやすい工夫をしています。

※デジタルコンテンツの中でデジタル以外のリアルな要素を取り入れた手法



▲巨大地震体感4Dシアター

2. VRや実物模型で、高性能・高品質な家づくりを目指すセキスイハイムの特長を学ぶ

一般的な建築現場は、天候の影響を受けやすく不安定な作業環境や重労働が大きな課題となります。「ハイムスタディギャラリー」では、このような建築現場での困りごとを解決するセキスイハイムの工場生産技術をVRやジオラマで紹介します。また、一般的な鉄骨軸組み（ブレース）構造と、当社でも採用しているラーメン構造の違いについて、実物のスケルトン展示やアニメーション映像を使ってわかりやすく説明します。

【一般建築作業VR体感】

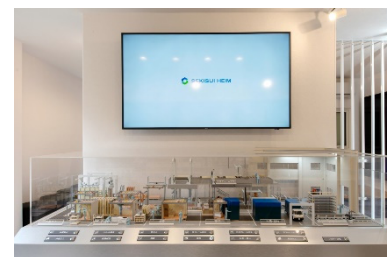
ヘッドマウント型の360°VR体感装置を使って、在来工法の天井石膏ボードへの釘打ち作業や一般的な鉄骨建築の屋外での溶接作業の難しさを体感いただけます。



▲一般建築作業VR

【可動型工場ジオラマ×映像コンテンツ】

セキスイハイムの工場生産の全貌を再現したジオラマと共に、雨風など天候の影響を受けにくい屋根の下でつくる家づくりや、大型機械を駆使した快適な作業環境での家づくりの各工程を解説します。ジオラマと連動した実際の工場内建築シーンを映像でご覧いただけます。



▲可動型工場ジオラマ

3. 対話型映像で、未来の暮らしを見据えたスマートハウスを学ぶ

昨今の光熱費高騰や災害時の停電リスクに加え、SDGsの観点からも、暮らしとエネルギーの関係はますます重要になっています。「未来の家スタディギャラリー」では、当社の提案するスマートハウスによる自然エネルギー中心の暮らしやIoT技術を活用した暮らしを体感しながら、その利便性や経済メリット、環境効果や今後の発展性について解説します。

【対話型コンテンツ：これからの暮らしとエネルギー】

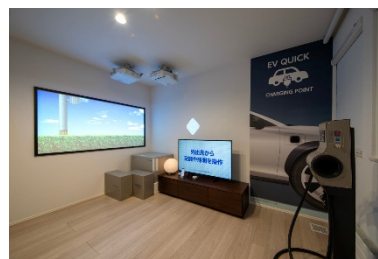
社会・暮らし・住まいとエネルギーの関係における現状と未来について、プロジェクションマッピング映像にて紹介します。電力価格の上昇リスク、自然災害と停電の関連性ほか、電気自動車（EV）の活用、スマートハウスの一日などを、タッチセンサー技術を活用した映像対話型の図解コンテンツで、お客様の興味関心に沿って解説します。



▲対話型コンテンツ
これからの暮らしとエネルギー

【未来型スマートハイム体感】

セキスイハイム独自のエネルギー管理システム（HEMS）「スマートハイムナビ」で実現可能な IoT 技術を活用した暮らしの利便性、将来の拡張性について、一日の暮らしを再現するプレゼンテーションでお伝えします。また、EV への充電、EV から家への給電や災害時の電気※の活用についても体感を交えて解説します。



▲未来型スマートハイム体感

※停電時において、EV の電池容量が放電下限値（車種により異なる）または当社が販売する VtoHeim システムに設定されている放電下限値のいずれかを下回る場合、宅内に電気を供給すること（放電）ができなくなります。また、電力が使える範囲は事前の設計により異なります。同時に使える電力には限りがあります。

『ハイムギャラリーパーク札幌』ショールーム外観

地上 2 階建て 延床面積 269.09 m²（1 階 137.07 m²、2 階 132.02 m²）



<北海道セキスイハイム株式会社 概要>

- ◎設 立：1975 年 10 月 1 日
- ◎資 本 金：2 億円（積水化学工業株式会社 100%出資）
- ◎代 表 者：代表取締役社長 高井 猛
- ◎売 上 高：213 億円（2024 年 3 月期）
- ◎従 業 員 数：316 名（2024 年 4 月現在）
- ◎事 業 内 容：ユニット住宅「セキスイハイム」の施工、建築工事及び土木工事の請負・設計・施工
不動産の売買・仲介、製品設計開発、インテリア・エクステリア、増改築
- ◎事 業 所：札幌支店、旭川支店、帯広支店、道南支店、室蘭営業所、北見営業所、釧路営業所、
倶知安営業所、滝川営業所、中標津営業所
- ◎グループ会社：北海道セキスイファミエス株式会社
- ◎本 社 所 在 地：〒001-0014 北海道札幌市北区北 14 条西 4 丁目 2-1

<この件に関するお問い合わせは下記までお願いします>
北海道セキスイハイム株式会社
〒001-0014 札幌市北区北 14 条西 4 丁目 2-1
営業統括部 営業企画課 伊藤 TEL. 080-2465-6676